

アオサギ観察会

2010年4月28日

アオサギが見ているのはどんな世界？

広い視界 同じふたつの目をもっていても、アオサギと人の目はずいぶん違います。まず目につくのは、彼らの目が頭の側面にあるということ、と思ったら大間違い。アオサギの目は思いのほか正面近くに位置しているのです。このため、彼らが両眼視できる角度は170度と、人間の120度とくらべ4割も広がっています。もちろん、片眼で見られる範囲を含めた視野角の広さは人のそれに比べるまでもありません。



水の中でも闇夜でも アオサギの水中ハンティングの腕前は鳥の中でもかなり優秀です。その能力を支えているのは水の中をはっきりと見通せる特殊な眼。偏光レンズ付きの眼鏡をかけているようなもので、キラキラした水面の光反射も難なく遮断してしまいます。鳥は夜目が利かない、というのもアオサギには通用しません。アオサギは昼も夜も活動できる万能選手なのです。

全てくっきり！ 人の眼には基本的にひとつのモノしかはっきり見えません。これはひとつのものにしか焦点が合わせられないからです。ところが、アオサギは多くのものを同時に見ることができます。つまり、近くのものでも遠くのものでも両方に焦点が合ってしまうのです。このため、目の前の獲物を狙いながら、同時に飛んでいる捕食者を警戒するというようなことも普通にできるのです。



豊かな色彩 そして、何ととっても素晴らしいのが、彼らの見ている世界が想像できないほどカラフルだということ。人は全ての色を赤、緑、青の3原色で見えています。ところが、アオサギはこの他に紫外色を加えた4原色の組み合わせでモノを見ることができるのです。人が見れば同じ緑の色も、アオサギには赤と青ほどに違って見えるはず。アオサギから見れば、人が見ているのはさながらモノトーンの世界といえるかもしれません。